



スジクワガタ号

3月定例クリーンアップ

【活動報告1】

3月24日(日) 9:00~11:00 晴れ

細川一雄

実施内容：二の橋～大道橋～朝比奈橋上流（土嚢袋7袋、10cm角の角材（長さ1m）…県営住宅跡地の住宅工事現場の下、冬物のジャンパー、長さ50cmの鉄パイプ他回収）

参加者：長野政治、中村健二、西澤博厚、村田章夫、角田繁、関場俊子、宇多芳美（鶴見あけぼの保育園）、細川一雄（計8名）



ブックオフ中



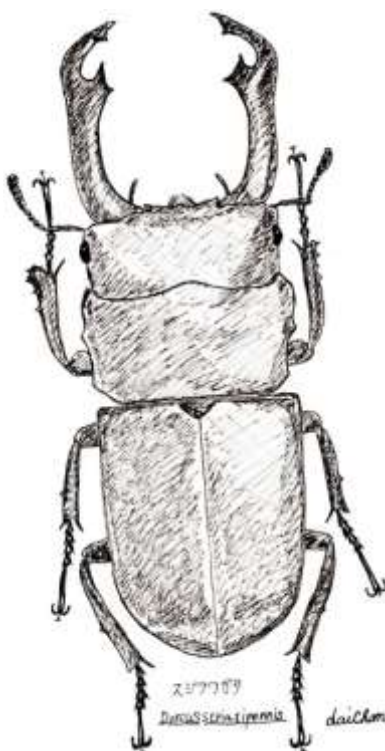
大道橋下で回収した冬物ジャンパー



回収した7袋分のゴミと角材



大道橋上流の草むらにいたアオダイショウ（1m位）



スジクワガタ（条鋸形）

学名：*Dorcus striatipennis*

コクワガタによく似た小型のクワガタで、主にクヌギやコナラのある雑木林に生息する。和名のスジは上翅にある筋模様からついたが、これが顕著なのはメスと小型のオスで中～大型のオスではこの筋がほとんど見られない。コクワガタの場合大きいオスは40mmを優に越えるが、本種の場合は30mmを越えたらかなり大型と言える。内歯(大アゴの内側にある突起)の形が特徴的で、大型のオスのそれはカッコいいの一言に尽きる。北海道～九州、朝鮮半島と広く分布する原名亜種 *Dorcus striatipennis striatipennis* (Motschulsky, 1861)に加え、屋久島に分布するヤクシマスジクワガタ *D. s. koyamai* (Nakane, 1978)、台湾亜種 *D. s. yushiroi* (Sakaino, 1997)、中国亜種 *D. s. davidi* (Séguy, 1954)と現在4亜種に分けられている。

深沢大地

バチ抜け観察会

3月24日(日) 18:50~

【活動報告2】

小池実

3月24日(日)、すっかり暗くなった18時50分に六浦駅を出発し、川の中を懐中電灯で照らしながら歩いていきます。ターゲットはバチ抜け(ゴカイの放卵現象)! それを観察するためにたくさんの方が集まりました(20人くらいだったかな?)。

ゴカイを捕まえに魚がたくさん来るそうで、釣りざおを持ってスズキを釣る気満々な子どもたちの元気な姿がとてもステキでした。昼間とは打って変わり、夜は冷え込んでいたため大学生の僕は寒さにタジタジでしたが、子どもたちはそんな素振りを一切見せません。

噂には聞いていたバチ抜けが見られる!と、ワクワクしながら川をのぞき込んでいましたが、1時間ほど歩いた結果、バチ抜けを見つけることはできませんでした(スズキは何匹か見られました)。

僕は7年ぶりの侍従会でした。当時と全然変わらないメンバーや以前の僕たちと同じように生き物に夢中な子どもたち。バチ抜けは見られませんでした。幸せな時間でした。



春の野草摘み&野草料理

4月6日(土) 9:00~

【活動報告3】

大塚一恵

「春の野草摘み&野草料理」に親子で参加しました。タンポポやセリ、ヨモギ、そして名前も知らなかったたくさんの春の野草を、学びながら、そして感謝しながら摘みました。毒のある草を見つけて毒味したり、たくさんのヤモリを見つけて捕獲したり。子どもたちは全てに興味津々!

発見する喜びを感じながら、自然の中を気持ちよく歩きました。

午後は、摘んできた野草を天ぷらやめたにして、満開の桜の木の下で味わいました。どの野草もそれぞれの風味があり想像以上に美味しくて、野菜が苦手な娘もパクパク食べていました。いつも目にしている草が美味しいお料理に変身した姿が面白かったようです。ちなみに私は、採れたての椎茸と桜の花びらの天ぷらが最高に美味しくて、匂いを感じながら堪能しました。

今回が初めてのイベント参加となります。私自身は幼い頃、ツクシやセリ摘みをしたり、イナゴ捕りをして頂くというのが毎年楽しみな恒例行事でした。その中で季節を感じて、自然の大切さを学んできたように思います。子どもたちも同じような体験をさせてあげたいと思っていた願いが叶った1日でした。ありがとうございました。



学生部新入生歓迎遠足 in 森戸川

【活動報告4】

4月13日(土) 9:00~

貞廣宇保(中1)

私は侍従会学生部の新入生歓迎遠足に行ってきました。
今回は森戸川の中流から源流までで川に入ると、ヒラテ
テナガエビやオイカワ、コオニヤンマの幼虫がいて、ボラ
の稚魚も多数。大きなアオダイショウも顔を出していました。



去年の会報を読んだり話を聞いていたりすると、森戸川
にはたくさんのアユがいたりパイプの中にはウナギがいて
と思って楽しみにしていると、今年はアユもウナギも一匹
もいませんでした。



また侍従川では一ヶ所にしかないコイが森戸川には、
いたる所にいて、中には網を折るような勢いでつつこんで
くるものもいました。



また流域面積の割にはカメが少ない気もしました(下流
にはいたのかも知れない)。

今回はたくさんの生き物がとれました。

新入生歓迎遠足を企画してくれたみなさん、本当にあり
がとうございました。

来年も参加したいです。

4月定例クリーンアップ

【活動報告5】

4月28日(日) 9:00~11:00 晴れ

細川一雄

実施内容: 大道東橋~大道橋~朝比奈橋上流(土嚢袋4袋、プルトップ多数、ワイヤー(工
事の影響?)、ペットボトル他回収)

参加者: 長野政治、西澤博厚、村田章夫、角田繁、中村健二、関場俊子、外川忠志、遠藤
ゆう、金子英司、柏倉陽向、貞廣宇保、小池碧馬、佐藤祐
紀子、長嶋美代子、佐藤未颯子(小6)、中園英太(小4)、
中園遥太(小1)、山本梨温(小4)、山本悠晴(小1)、大
塚こころ(小4)、細川一雄(計21名)

(細川下流方面応援。関場ちとせ園周辺、村田・角田上流方
面清掃)

川の浚渫工事の影響で浅瀬ばかりとなり、魚類の景が殆ど
見られない。初参加の方が8名。



回収した4袋分のゴミ

ピカピカタンポポだより⑫ 横浜市立大道小学校 鷺谷康子

今年も大道小トンボ池・侍従川清掃を行いました。

5月16日(木)天候にも恵まれ、今年も、トンボ池・侍従川の手入れを行いました。

今年も、飯村さん・細川さんに来ていただき、出発式をおこない、出発しました。

目標は、「トンボ池・侍従川のごみを拾いの活動を通して、川や池にいる生き物にふれ、地域の自然や自分たちの町を大切にしようとする気持ちと態度をそだてる」です。



トンボ池を探索？！

ふだん、身近に目にしている、勝手に入ることのできないトンボ池・侍従川です。1年に1回ではありますが、入ることで、水の流れを感じ、歩き回ることで、池の底を踏むことで、底の土や水を動かして藻の発生をふせげるかな？！と思います。

他の学年も、ごみや缶、ペットボトルや木片など、たくさんのごみがあることがわかりました。そして、同時に上からはわからない、豊かなたくさんの小さな命が侍従川にはあることを、しっかり見て感じていました。

ふだん、身近に目にしている、勝手に入ることのできないトンボ池・侍従川です。1年に1回ではありますが、入ることで、水の流れを感じ、歩き回ることで、池の底を踏むことで、底の土や水を動かして藻の発生をふせげるかな？！と思います。

1年生が担当しているトンボ池では、バケツに1杯、約50ぴきくらいのザリガニをとり、正門池



侍従川を清掃

トピック1

4/5(金) 神奈川県横浜川崎治水事務所と、侍従川中流域堆積土砂除去工事の現地確認…山田が対応

4/9(火) 神奈川県横浜川崎治水事務所と施工会社と、侍従川中流域堆積土砂除去工事についての現場確認…細川、飯村、山田が対応

5/27(月) 侍従川の草刈について、大道集会所にて地元住民、横浜川崎治水事務所との話し合い

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

早春の森、3月は天然シイタケがピークとなる。場所により時期がズレながらでてくる。気温が上がると育ちが早まり、シイタケ虫も増えて油断できない。

山桜よい頃は野草、山菜もぐんぐん育つ。庭にも山菜が着生してきた。古いプランターに生えたアマドコロが年々育つ。甘味がありおいしい。

侍従川は短いためすぐ海に着く。この時期潮回りも逃がせない。貝では大型で肉食のアカニシなども見つかる。森から海まで忙しい季節だ。



アマドコロ



天然シイタケ



アカニシ

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ クメジマボタル ～



クメジマボタル♂

学名：*Luciola owadai* 体長：12.7mm～16mm

分布：沖縄島、渡島



飛翔



交尾

93年に新種記載された久米島固有種で、沖縄県指定天然記念物。4月中旬から5月中旬に河川中上流域で発光する成虫が見られる。生活サイクルは本土のゲンジボタルとほぼ同じで、幼虫は水中でカワニナを食べて育つ。成虫は日没後2～3時間群翔し、その後は葉上で点滅を繰り返し、夜明けまで続ける。陸生ホタルが多い沖縄で唯一の水生ホタルの仲間。

監修：熊井健（沖縄在住）

北の国から ～今年のガンは?～ 瀧本宏昭

ゴールデンウィークが終わり、私が暮らす苫小牧でも桜が満開の時期を迎えました。この春の訪れに先駆けてウトナイ湖にやって来る野鳥の1つがガンの仲間です。今回は、今春に本州からロシアへ渡っていく途中でウトナイ湖を利用したガンたちについてお伝えします。

ガンたちは、2月25日に本州からの群れが到着しはじめ、3月2日には1万4千羽を確認。13日には6万5千羽を記録し、これが2019年春季の最大個体数(昨年3月17日の7万8千羽)となり、15日に3万羽に半減、30日に3千8百羽になるまでゆるやかに数を減らしていきました。今季は、湖の氷がとける時期が早く、それに合わせてガンの渡来も早まったようでした。また、前半にきた群れは例年よりも早起きで、暗くて見えない時間から飛び始める特徴がありました。原因は分かりませんが、カウントする人間としてはとても数えづらく、何日か数を出せない日がありました。せっかく4時起きしてるのに～。ただ、今年はガンの観察をしている際にキタキツネとエゾタヌキが出てきたので癒してもらえました。ガンたちは湖から飛び立った後、近くの畑で採食します。いっしょにオオハクチョウやオナガガモが見られることも多いです。今年はガンの群れの中にハクガンもあり、成鳥と幼鳥の違いをしっかりと観察することができました。

数の多さによる圧巻の風景見せてくれたり、春の訪れを感じさせてくれるガンの飛来は、毎年ワクワクする自然の中のイベントです。



ハクガンとマガンの群れ



冬毛のキタキツネ



少し疥癬(ヒゼンダニによる皮膚病)にかかったエゾタヌキ



写真が撮れる時間には少なくなるガンの飛び立ち



採食するマガン、オオハクチョウ、オナガガモ

トピックス2

3/24(日) 第33回よこはまの水辺と緑を考える子ども会議が日枝小学校・時田公園にて開催されました。深沢、長崎、尾池、高橋、小宮、貞廣、柏倉ひ、柏倉は、五月女、柴田、水野、山田が参加。



4/23(火) 大道小学校との話し合いを行いました。[大道小学校] 加藤校長、正木副校長、鷺谷先生 [侍従会] 山田、佐野、飯村、河本が出席。

水鳥調査2018-2019 学生部

<参加者> 深沢大地、金子英司、柏倉陽向、貞廣宇保、藤間康司、藤間遥香、平川美央、小宮彩、小宮一葉、五月女陽斗、大野颯太、柴田真菜

<トピック>

- ・2018年11月18日：野島公園（室ノ木地区）にてハイタカ観察
- ・2018年11月18日：内川橋～六浦二号橋の区間にてハイタカを3回観察
- ・2018年11月18日：六浦二号橋～第二山王橋の区間にてジョウビタキの鳴き声
- ・2018年12月2日：野島運河～野島海岸（前浜）の区間にてセイタカシギを観察、侍従会の調査では初記録
- ・2018年12月2日：野島公園（室ノ木地区）にてオオコノハズクを観察、侍従会の調査では初記録
- ・2018年12月2日：野島公園（室ノ木地区）にてチョウゲンボウを観察
- ・2019年2月3日：野島運河～野島海岸（前浜）の区間にてミサゴを観察、2018年度調査ではこの1回のみ記録
- ・2019年3月8日：野島運河～野島海岸（前浜）の区間にてヨシガモを観察、侍従会の調査では初記録



オオコノハズク

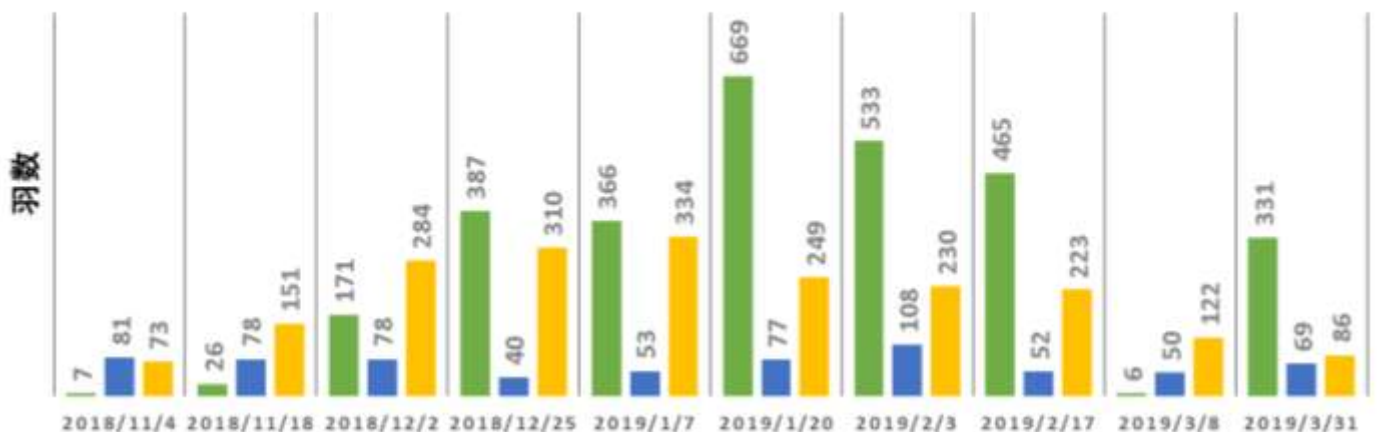


ヨシガモ

<総括> スズガモの最大羽数は1月20日に記録され、羽数は669羽だった。この結果は昨年度最大羽数の1016羽（2017年12月23日記録）より347羽少なく、1か月ほど遅れてのピークとなっている。今年度調査ではセイタカシギやヨシガモといった今まで侍従川で記録されていない種類を確認することができた。2019年3月8日の調査では、スズガモの記録が6羽のみとなっているが3月31日の調査で331羽記録されているため一時的にどこかに移動していたと考えられる。来年度は記録用紙を作るなど調査方法をより確立させていきたい。

侍従川流域におけるカモ類の数の推移

■スズガモ ■その他のカモ類 ■オオバン



事務局だより

◆6月以降の活動予定◆

☆定例クリーンアップ6/23(日)、7/28(日)、8/25(日)、9/22(日)
9時～12時 大道一丁目緑地(ちとせ園) 集合 ※雨天延期…翌週日曜

持ち物:川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、
着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆7/20(土)、21(日) いかだ川下り大会

■学生部の活動

☆定例調査(定例クリーンアップと並行して実施):6/23と9/22は下流、7/28は上流

☆6/9(日)クワガタ・カブトムシ観察会 大道裏山

☆8/10(土)～12(月・祝) 夏合宿 in 三戸浜

☆8月後半 1dayシュノーケル遠足 in 三ヶ下海岸

☆9/7(土) ヤンマとり大会 in 瀬上

詳細は決まり次第、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。

学生部ホタル調査 in 大道溪谷

[実施期間] 5月18日(土)～7月上旬の毎週水曜日と土曜日 ※雨天中止

[実施時間] 19:00～20:45 [集合場所] 大道中学校

[参加対象] 学生部(中学生・高校生) ※学生部以外の方の参加も歓迎します。

ただし、小学生以下は保護者同伴で参加してください。

[留意点] 中学生以上は保護者の承諾を得ての参加をお願いします。懐中電灯でホタルや民家を照らさないで下さい。夜なので、大きな声で話したり騒いだりしないようお願いいたします。調査終了後は速やかに帰宅しましょう。

問合せ: eiji.kanegonn.jiju@gmail.com (金子)

<<2019年度会費納入のお願い>>

4月から新年度になりました。新年度分の会費の納入を**6月中**にお願いいたします。現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込票で支払ってください。

また、振込用紙の通信欄に、会員種別(家族、大人、学生部、ジュニア)、お名前(全員分)、会報の郵送希望の有無の記入をお願いいたします。

口座記号番号:00230-5-68634 加入者名:ふるさと侍従川に親しむ会

年会費:家族会員4,000円 大人3,000円 大学生以下1,500円

問合せ: jiyukai@gmail.com

《編集後記》 今年も学生部による大道溪谷のホタル調査が始まりました。冬場に実施した整備作業の効果が出ていることを期待しています。(MK)